

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	化学物質の有害性調査事業		担当部局庁	厚生労働省 労働基準局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度		担当課室	安全衛生部 化学物質対策課		半田 有通	
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する。			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第57条の5		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	労働現場で大量かつ広範囲に製造、使用されている化学物質について、実験動物を用いたがん原政権を行い、その試験結果を労働者の健康障害防止対策のに活用する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	OECDテストガイドラインに基づき、実験動物(マウス及びラット)を化学物質にばく露させるがん原性試験(2年間の長期ばく露)及びがん原性試験のための予備試験(短期ばく露)を行うことにより、化学物質のがん原性等の有害性を調査する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度要求	25年度要求	
		当初予算	912	845	850	825	825
		補正予算					
		繰越し等					
	計	912	845	850	825	825	
	執行額	912	845	817			
執行率(%)	100%	100%	96%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	・委託物質に係る試験の実施率	成果実績	試験の実施率	100	100	100	100
		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	・委託物質に係る有害性試験を適正に実施し、各年度に試験が終了する予定の2物質について、試験結果を公表する	活動実績 (当初見込み)		2物質の試験を実施し、結果を公表済み	2物質の試験を実施し、結果を公表済み	2物質の試験を実施し、結果を公表予定	-
				2物質の試験を実施し、結果を公表済み	2物質の試験を実施し、結果を公表済み	2物質の試験を実施し、結果を公表予定	(2物質の試験を実施し、結果を公表予定)
単位当たりコスト	-		算出根拠	各年度ごとに実施する委託物質は、それぞれ化学的、物理的性質などが異なるため、有害性試験実施に必要な費用を同一と見なすことができない。			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	運営管理費	458.3	458.3				
	職員設置費	327	327				
	消費税	39.3	39.3				
	計	824.6	824.6				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	職業がんの予防は労働者にとって関心事項であり、優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	安衛法では、国自ら化学物質の有害性調査を実施するよう努めることが規定されている。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	調査研究等に必要な特定の設備又は特定の技術等を有する者が一しかないため、公募を行った。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	労働者の健康障害防止のための事業であり、事業者が負担する労災保険から経費を負担するため、妥当。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	マウス及びラットの吸入試験のための費用である。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	がん原性を推測する手法はあるが、確定的に調べるには実験動物による試験しかない。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	成果をもとに、指針を発出している。	
点検結果	いずれの目標も達成しており、化学物質の有害性の有無等を明らかにしてきており、事業を継続すべきと考える。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	労働者の健康障害防止対策に活用するための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき(必要な予算措置に努めること)。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	650 - 54	平成23年行政事業レビュー	962

※平成23年度実績を記入

化学物質の有害性調査事業

厚生労働省
(817百万円)

〔事業管理、受託者への指導〕

↓
【公募】

A. 中央労働災害防止協会
(817百万円)

〔事業場で使用され、労働者へばく露されている化学物質のうち、委託者が指定する物質について、有害性(がん原性等)調査の実施等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.中央労働災害防止協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他の事業費	光熱費、実験動物購入費	426			
委託業務管理費	委託業務担当者経費	274			
電子計算機等借料	電子計算機等借料	78			
消費税	消費税	38			
諸謝金	会議謝金	1			
旅費	会議旅費	0			
計		817	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中央労働災害防止協会	マウス及びラットによる吸入試験	817	1	96
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					